ICT を利活用した質の高い教育を実現するための全学的な計画

【令和7年9月25日学部長会議承認】

1. 目的

ICT(Information and Communication Technology:情報通信技術)の利活用により、学修者本位の学修を実現するとともに、効果的で質の高い教育の推進を目指す。また、全ての学生教職員が安全安心に利用でき、教育活動において効果的で効率的な活用ができる ICT 環境の整備を図ることを目的とする。

2. ICT 環境の整備に関する取組

ICT を利活用した質の高い教育を推進するため、次項の環境整備を段階的に行う。

(1) ネットワーク環境の整備

全てのキャンパス(神埼キャンパス、佐賀キャンパス、小城キャンパス)の全ての教室にて安定したWi-Fi通信ネットワークの環境を整備する。

(2) パソコンの必携化の推進(BYOD:Bring Your Own Device)

学生個人が購入したパソコンでの遠隔授業への参加や課題提出、レポート作成等を行えるようICT環境を整え、学生個人パソコンの携帯を推奨する。

(3) 学生が個人のパソコンを活用して自学自習できる環境の整備

学生個人パソコンが利用可能な環境(電源コンセント及びWi-Fi等)を各キャンパスの図書館等に整備し、自習等に支障のないようにする。

また、学生個人パソコンから直接印刷できる環境を各キャンパスの図書室に整備する。

(4) 学修支援システムの整備

授業等に当たっては既存の修学支援システムである学生ポータルサイトとMicrosoft Teamsの2つのシステムを活用して効率性及び利便性の向上を実現する。

(5) 教員が使用するパソコンの更新

教員が使用するパソコンをノートパソコンへ更新し、ICTの利活用及び充実を推進する。

3. 技術支援・教育支援体制の整備

情報メディアセンターと情報システム室を統合したDX推進センターは、教育活動において、学生及び教職員が効果的にICT を活用できるための技術支援・教育支援を実施する。

4. セキュリティへの対応

DX推進センターは教職員と協働して、学生に対してセキュリティに関する説明を実施するとともに安全・安心なネットワークを構築する。

・新生入生オリエンテーション等にて情報セキュリティや著作権、情報倫理に関する説明を実施する。

・授業において、セキュリティに関する教育を実施する。

5. DXによる学修者本位の学修の実現

ディプロマ・サプリメントシステムを用いて、ディプロマ・ポリシーが求める諸能力の達成度を学生に申告させ、それに基づく履修指導等を実施する。DXによる学修者本位の学修実現に向けた取り組みを推進し、次に定めるアウトプット及びアウトカム指標の達成を目指す。

(1) アウトプットに関する指標

学修状況に応じた適切な履修指導の実施

【目標値】各学生に対して年間3回以上の面談の実施

(2) アウトカムに関する指標

新しい履修指導によって標準修業年限以内に卒業する学生の割合の向上

【目標値】各学科等において0.5%の向上を目指す

6. DXによる効果的で質の高い学修の実現

DXを活用した対面授業とオンライン学習を効果的に併用して教育効果を高め、授業外学修時間の増加やアクティブ・ラーニングの充実を図る。

7. 組織

本計画の推進状況をチェックする組織は、西九州大学点検・評価運営委員会と外部評価委員会とする。その評価を産業界や地域社会等に発信し、更なる意見を求める。本計画に関しては、西九州大学学部長会議が責任を持ち、DX推進センターが核になって推進する。